

ペットプロテュース学科			
前期/授業予定回数：14週（1授業45分）		後期/授業予定回数：14週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	太田 圭亮		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 取得目標 犬猫などを扱うプロとして必要な看護関連の知識を得る 授業の特徴 座学 授業の進め方 座学 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		目標取得資格名 修得目標 授業の特徴 座学 授業の進め方 座学	
授業進行計画		授業進行計画	
第1週：犬猫の栄養学（総論） 第2週：栄養素について 第3週：オスの特性と去勢手術 第4週：メスの特性と避妊手術 第5週：よく見る症状 下痢 第6週：よく見る症状 嘔吐 第7週：よく見る症状 尿の異常 第8週：寄生虫 フィラリアについて 第9週： // 第10週：応急処置 1 第11週：応急処置 2 第12週：応急処置 3 第13週：定期試験 第14週：試験解答・解説			
成績評価方法		成績評価方法	
定期試験 ± 平常点 100% ± 10点			

ペットプロデュース学科			
前期/授業予定回数：13週（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	岩元 奈穂		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名</p> <p>修得目標 一般的なブリーダーの繁殖を学びトリマー・ショップ店員として必要な知識を学習していく</p> <p>授業の特徴 性周期、交配方法を学び、妊娠・出産、子犬の離乳までの流れを学習。タブーとされている毛色の交配の基本を知る。</p> <p>授業の進め方 板書、プリント、ビデオなど</p> <p>※この科目は、トリミングサロンの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名</p> <p>修得目標</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週：繁殖、血統と遺伝、伝染病</p> <p>第2週：性周期について</p> <p>第3週：犬と猫の繁殖型について</p> <p>第4週：犬と猫の交尾行動の違い</p> <p>第5週：排卵と交配適期</p> <p>第6週：自然交配と人工交配、スメア検査</p> <p>第7週：妊娠と偽妊娠</p> <p>第8週：出産とリスク 難産と帝王切開</p> <p>第9週：新生子の免疫と管理 断尾、狼爪の切除について</p> <p>第10週：難産になりやすい犬種、交配式について（毛色、ミスカラーなど）</p> <p>第11週：動物取扱業について</p> <p>第12週：前期定期試験</p> <p>第13週：前期定期試験解答解説</p>		<p>第1週：</p> <p>第2週：</p> <p>第3週：</p> <p>第4週：</p> <p>第5週：</p> <p>第6週：</p> <p>第7週：</p> <p>第8週：</p> <p>第9週：</p> <p>第10週：</p> <p>第11週：</p> <p>第12週：</p> <p>第13週：</p> <p>第14週：</p>	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

科目名

ペットプロデュース学科/2年生			
前期/授業予定回数：14週（1授業45分）		後期/授業予定回数：14週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	高橋 大		高橋 大
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <なし> 科目の必要性・業界での必要性 就職内定を獲得する為、業界の現状及び社会人として必要とされる知識等を取得する。 授業の特徴 就職活動で必要とされる知識等を身に付け、内定取得に向け積極的に活動する。 授業の進め方 マニュアル、板書、プリントを用いて説明する。		目標取得資格名 <なし> 科目の必要性・業界での必要性 就職内定を獲得する為、業界の現状及び社会人として必要とされる知識等を取得する。 授業の特徴 就職活動で必要とされる知識等を身に付け、内定取得に向け積極的に活動する。 授業の進め方 マニュアル、板書、プリントを用いて説明する。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 ☆ 卒業年次としての心構え・求人情報の見方 第2週 ☆ ペット業界説明・就職までの流れの再確認 第3週 ☆ 面接試験対策① 第4週 ☆ 面接試験対策② 第5週 ☆ 自分の将来像を見る 第6週 ☆ 社会人（新入社員）として必要なこと 第7週 ☆ 職業理解及び自己目標の設定 第8週 ☆ 内定獲得に必要な要素 第9週～第14週 ☆ 実習・就職先で認められるために ☆ 弱点の発見、改善 ☆ 表現力の向上（面接、接客、実習） ※就職内定者は出席免除。 ただし毎月指定日には必ず出席の事。 ※就職活動スケジュールにより変更することもある。		第1週～第14週 ☆ 就職目的に応じた意識改善や面接対策等 ※就職内定者は基本出席免除。 ただし毎月指定日には必ず出席の事。 ※内定後、辞退や取消があった場合は直ちに再出席をすること	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%以上で単位修得		出席率90%以上で単位修得	

ペットプロデュース学科			
前期/授業予定回数：13週（1授業45分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	石井 さより 青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> <u>修得目標</u> 業界について理解を深める 団体行動を学ぶ <u>授業の特徴</u> 連絡事項伝達 個人面談 <u>授業の進め方</u>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：進級に伴う必要事項の伝達 第2週：個人面談 第3週： 〃 第4週： 〃 第5週： 〃 第6週： 〃 第7週：インターンシップ、JAKイベントについて 第8週：盲導犬見学・運動会について 第9週：各行事振り返り 第10週：夏休みの過ごし方、宿題 第11週：前期定期試験について 第12週：連絡事項、大掃除 第13週： 〃			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%以上で修得とする。			

ペットプロデュース学科			
前期/授業予定回数：13週（1授業90分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
最新犬種図鑑	石井 さより		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<トリマーライセンス></p> <p>修得目標 各犬種の特徴や性格、起源・分類を学ぶ事により、お客様にスムーズな説明・接客を行う事が出来る様になる</p> <p>授業の特徴 犬種ごとの特徴（スタンダード）や性格、起源・分類を学ぶ</p> <p>授業の進め方 座学。画像を多く使用し、特に多い場合はスライドを使用する</p> <p>※この科目は、トリミングサロンの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名</p> <p>修得目標</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：プードル 第2週： 〃 第3週：シュナウザー 第4週： 〃 第5週：テリア 第6週： 〃 第7週：東京理器講義 第8週：テリア種スタンダード 第9週：シーズー 第10週：マルチーズ 第11週：血統書について 第12週：前期定期試験 第13週：前期定期試験解答			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

トリマー科・病院トリマー科			
前期/授業予定回数：14週（1授業180分）		後期/授業予定回数：14週（1授業180分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
最新ドッググルーミング マニュアル	井上 麻弥子 他		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 〈学園認定トリマーライセンスA級〉 修得目標 プードルのラムクリップを目標に様々な犬種のカット技術の基礎、応用を学ぶ。又、お客様の犬のトリミングを通し、接客方法やオーダーの取り方を学ぶ。 授業の特徴 生きた新しい情報を取り入れ、トリミングのスタンダードを基本とし、様々な犬種のトリミングを学ぶ。 授業の進め方 スタンダードを理解させ、トリミングの方法・形を覚えるだけではなく、自分で考えてカットさせる力をつける ※この科目は、トリミングサロンの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		目標取得資格名 修得目標 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>トリミング実習（お客様含む）</u> 接客・オーダーの取り方 ○ <u>実習に伴う、道具の消毒・教室の掃除</u> 当番制 ○ <u>皮膚、被毛の管理</u> シャンプー剤使い分け ○ <u>犬種別カット技法の理解</u> 試験（プードル ケネル&ラムクリップ） 各犬種カット技法 第1週～第3週 第1週：テリア種ブラッキング実習 2人1組でカット 全身バリカン、身体バリカン 1人でグルーミング 数名1組で大型犬のグルーミング 第4週～第14週 2人1組でカット、身体バリカン、全身シザー 1人でカット、身体バリカン、全身シザー 1人でグルーミング 2～3人1組で大型犬グルーミング 7月3週目 学園認定トリマーライセンス実技試験 （プードル ケネル&ラムクリップ）		第1週： 第2週： 第3週： 第4週： 第5週： 第6週： 第7週： 第8週： 第9週： 第10週： 第11週： 第12週： 第13週： 第14週：	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

トリマー科・病院トリマー科			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
JKC 最新 グルーミングマニュアル	井上 麻弥子		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <トリマーライセンス> 習得目標 ペット業界の日々新しい情報と変化し改良されていくトリミングの方法に対応していく為、トリミング技術を向上させる為、座学による頭で考えるトリミング知識を学ぶ 授業の特徴 トリミングのスタンダードを基本とし、あらゆる犬種のトリミング知識と技術を学ぶ。 授業の進め方 トリミングの方法を文字だけで覚え理解させるのではなく、形で理解してもらう為に犬体図や骨格図なども書き学習する。 ※この科目は、トリミングサロンでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		目標取得資格名 <> 習得目標 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ●グルーミング・トリミング中の考え方と姿勢 ●ブラッキングの基礎知識（ブラッキングをする理由と意味）復習 ●犬種別カット技法 プードル（ラムクリップ） 犬の犬体・骨格から考えるトリミング方法 校内試験に向けて ●犬種別カット技法 プードル（コンチ・サドル・ダッチクリップ） ●犬種別カット技法 プラッキングテリア種 （ワイヤーフォックス、ウエスティー、スコッチ、ジャックラッセル） 用途・沿革に沿いその犬種らしさを引き出すトリミング技法 ●犬種別カット技法 ビションフリーゼ スタンダードカット方法 ショークリップからペットカットまで ●犬種別カット技法 スイニング犬種 アメリカンコッカースパニエル ●試験解答 			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点+平常点（授業態度） 100% ±10点			

トリマー科			
前期/授業予定回数：14週（1授業180分）		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
最新ドッググルーミング マニュアル	井上 麻弥子		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 （経専学園認定トリマーライセンス） 修得目標 トリミング実習をメインにトリミング技術の向上を目指す。又座学にて造形を行い骨格から犬体を理解する。更に、コンテストに向けデザイン力を養う。 授業の特徴 ライセンスの取得、コンテスト入賞に向け、時間や試験での採点ポイントを意識しながら実習を行う。 授業の進め方 実習をメインに一人で一頭仕上げる事を目標とする。また、数回座学を行う。 ※この科目は、トリミングサロンの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		目標取得資格名 修得目標 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 ～ 第14週 経専学園認定トリマーライセンス実技試験合格に向けた実習（カット犬種） その他、各犬種のグルーミング及びトリミング 6月 犬体・骨格の理解を目的として造型などの座学を行う（2回）		第1週： 第2週： 第3週： 第4週： 第5週： 第6週： 第7週： 第8週： 第9週： 第10週： 第11週： 第12週： 第13週： 第14週：	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

トリマー科			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	井上 麻弥子		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 トリマーとして仕事をする為に必要な常識と知識を学ぶ トリマーとしての仕事を学ぶ 授業の特徴 実践で接客に役立つ行動がスムーズに出来る様に学ぶ 授業の進め方 座学、及び実習 ※この科目は、トリミングサロンの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		目標取得資格名 修得目標 授業の特徴 授業の進め方 	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ●ドッグショー <ul style="list-style-type: none"> ・ハンドリングを学ぶ ・トリマーの仕事と役割 ・ハンドラーの仕事と役割 ●グルーミング・トリミング中の犬のトラブル <ul style="list-style-type: none"> ・犬に起こる可能性のある事 ●シャンプー剤Ⅱ ●グルーミングの付加サービス ●流行のペットカット方法 ●トリミング試験対策 ●フード雑学 			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点		素点 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点	

病院トリマー科			
前期/授業予定回数：14週（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
めざせ早期発見！ わかる犬の病気	亀岡 彩人		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> トリマーが動物病院で働くために必要な看護の知識や対応を学ぶ。		<u>目標取得資格名</u> <u>科目の必要性・業界での必要性</u>	
<u>授業の特徴</u> 教材「わかる犬の病気」に沿って、 トリマーに必要な看護知識を更に深めていく。		<u>授業の特徴</u>	
<u>授業の進め方</u> 座学 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		<u>授業の進め方</u>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：病院トリマー学について知識の確認 第2週：全身状態の確認 第3週：犬の体格について 第4週：人獣共通感染症について 第5週：皮膚の病気 第6週：耳の病気 第7週：目の病気 第8週：シャンプーの知識 第9週：トリミングで起こるトラブルについて 第10週：飼い主さんへの症状についての説明 第11週：ワクチンの重要性 第12週：トリミング 第13週：定期試験 第14週：試験解答・解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点		素点 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点	

病院トリーマー科			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数：週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<動物看護ライセンス> <u>修得目標</u> 動物病院で看護補助を行うための知識を学ぶ 便、尿、血液、画像検査等</p> <p><u>授業の特徴</u> 授業の区切りで小テストを実施し、理解度を深める</p> <p><u>授業の進め方</u> 座学・実習</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週：便・尿検査復習（プリントで確認） 第2週：血液とは 第3週：復習 第4週：採血（血管、保定、駆血、止血） 第5週：血液に使用する容器と分注について 第6週：復習 第7週：血液検査の項目について大まかに学ぶ 第8週： 〃 第9週：復習 第10週：一連の流れを確認 第11週：便、尿、血の検査補助を同時進行で行う 第12週：復習 第13週：定期試験 第14週：解答と解説</p> <p>※当日使用できる検体によって内容は前後することもある。</p>			
成 績 評 価 方 法			
<p>素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点</p>			

病院トリマー科			
前期/授業予定回数：13週（1授業90分）		後期/授業予定回数：週（1授分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名＜動物看護ライセンス＞</p> <p>修得目標 犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技などを学ぶ。また臨床検査に必要な保定についても看護実習内で学ぶ。</p> <p>授業の特徴 座学、実習</p> <p>授業の進め方 理解力を確認しながら実習を行う</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週：バイタルサイン・健康チェックについて</p> <p>第2週： ”</p> <p>第3週：復習</p> <p>第4週：歯磨きについて</p> <p>第5週：（飼い主様への説明、トレーニング方法）</p> <p>第6週：復習（スケーリングについても少し）</p> <p>第7週：調剤について</p> <p>第8週：（カルテ用語、器具の正しい使い方、薬袋）</p> <p>第9週： ”</p> <p>第10週：投薬について</p> <p>第10週：動物病院で行う保定について学ぶ</p> <p>第11週：（採血、耳垢検査、眼科検査、レントゲン、</p> <p>第12週： 投薬、犬種によるおさえ方の違い）</p> <p>第13週：定期試験</p> <p>第14週：解答と解説</p> <p>※上記日程・内容については、 生体確保等の理由により変更することがある</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
<p>定期試験 + 平常点</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	大野 富美		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> <u>修得目標</u> 騾の観点から犬の性質を理解し、犬に触れる際に実際できるように学び、飼い主様からの相談に答えられる様な知識を身に付ける <u>授業の特徴</u> <u>授業の進め方</u> ※この科目は、ドッグトレーニングの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		<u>目標取得資格名</u> <u>修得目標</u> <u>授業の特徴</u> <u>授業の進め方</u>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：問題行動について、具体例、対処法 第2週： 第3週： 第4週： 第5週： ドッグスポーツについて 第6週： 第7週： 犬との色々な遊びについて 第8週： 第9週： 第10週： 第11週： 第12週：復習 第13週：定期試験 第14週：定期試験解答			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科			
前期/授業予定回数：13週（1授業90分）		後期/授業予定回数：15週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	森川 こずえ		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名</p> <p>修得目標</p> <p>猫の歴史と人間とのかかわり、猫の分類、特性、飼育、しつけ、健康管理について学習し、就職後に猫との関わりを持つ上で必要となる基礎知識を学ぶ。</p> <p>授業の特徴</p> <p>生体を取り入れる。小テストを行い理解度を確認する。</p> <p>授業の進め方</p> <p>プリントを用いて説明する。 常に対話をしながら、学生の理解を確認しながら行う</p> <p>※この科目は、猫のブリーダーの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名 < なし ></p> <p>修得目標</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週：猫の歴史と人との関わり 第2週：品種について 第3週：猫の性格、習性 第4週：仔猫、猫の扱い方、接し方、注意点 第5週：猫のトリミング、日々のお手入れ 第6週：シャンプー 第7週：猫の病気と食生活 第8週：猫のお産について 第9週：猫の病気と病院 第10週：病院での猫の扱い方について 第11週：猫と暮らし始める時の心構え、必要な道具 第12週：今までの授業を振り返って 第13週：定期試験 第14週：試験解答解説</p> <p>多少授業の予定が前後する可能性があります。</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
<p>素点 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：14週（1授業180分）		後期/授業予定回数：14週（1授業180分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
最新ドッググルーミング マニュアル	石井 さより 井上 麻弥子 山谷 佳奈		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 〈学園認定トリマーライセンスB級〉 修得目標 プードルのテディベアカットを目標に様々な犬種の カット技術の基礎・応用を学ぶ。又、お客様の犬のトリ ミングを通し接客方法やオーダーの取り方を学ぶ。 授業の特徴 生きた新しい情報を取り入れ、トリミングのスタンダ ードを基本とし様々な犬種のトリミングを学ぶ。 授業の進め方 スタンダードを理解させ、トリミングの方法・形を覚 えるだけではなく、自分で考えてカットさせる力をつける ※この科目は、トリミングでの実務経験のある教員が 実践的教育を行っています。		目標取得資格名 修得目標 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>トリミング実習（お客様含む）</u> 接客・オーダーの取り方 ○ <u>実習に伴う、道具の消毒・教室の掃除</u> 当番制 ○ <u>皮膚、被毛の管理</u> シャンプー剤使い分け ○ <u>犬種別カット技法の理解</u> 試験（プードル テディベアカット） 各犬種カット技法 第1週～第3週 第1週：テリア種ブラッキング実習 2人1組でカット 全身バリカン、身体バリカン 1人でグルーミング 数名1組で大型犬のグルーミング 第4週～第14週 2人1組でカット、身体バリカン、全身シザー 1人でカット、身体バリカン、全身シザー 1人でグルーミング 2～3人1組で大型犬グルーミング		第1週： 第2週： 第3週： 第4週： 第5週： 第6週： 第7週： 第8週： 第9週： 第10週： 第11週： 第12週： 第13週： 第14週：	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：5回（1授業90分）		後期/授業予定回数： 回（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
プリント	中村 絵里花		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名< なし > 修得目標 ペット服についての様々な知識の学習や グッズ製作を通して、実際のショップで行われている サービスについて学ぶ。 授業の特徴 実際のショップで行われているサービスについて 学ぶ事が出来る。 授業の進め方 プリントを使用した座学や、ミシンを使用してグッズ 製作を行う。 ※この科目は、犬の服飾制作の実務経験のある教員が 実践的教育を行っています。		目標取得資格名< なし > 修得目標 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1回目：4月13日 ペット服について 採寸の仕方、サイズ選びについて 第2～5回目 5月11日・6月1日・7月6日・8月31日 : ミシンで作る簡単マナーバンド 型紙、裁断、ミシン練習、本縫い			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%で修得とする			

ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：4週（1授業90分）		後期/授業予定回数： 週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	橋本 理恵		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名</p> <p>修得目標 ドッグアロマが与える犬への心身の働きについて学びアロマ、肉球クリームなどの活用方法について学ぶ</p> <p>授業の特徴 アロマセラピーの基礎を学びながら犬のケアについて身に付けていく</p> <p>授業の進め方 プリント、実習にて体感、実践を大切にする</p> <p>※この科目は、ペットマッサージの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名</p> <p>修得目標</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1回：4月27日 アロマセラピーとは、精油 (実習：消臭・ルームスプレー)</p> <p>第2回：5月18日 犬への心身への働き</p> <p>第3回：6月29日 精油の薬理効果・濃度 (実習：虫よけ・ボディスプレー)</p> <p>第4回：8月17日 ホームケアでの活用 (実習：肉球クリーム)</p> <p>各回全講義のミニテスト 最後にレポート提出</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%以上で修得とする			

ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：4回（1授業90分）		後期/授業予定回数： 回（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青沼 有紀		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名< なし ></p> <p>修得目標 犬の手作り食の基本を知る</p> <p>授業の特徴 一般的な犬の栄養学・食材知識に加えホリスティックな考え方を取り入れた手作り食の基本を修得する。</p> <p>授業の進め方 座学と実習を交え、知識を学び、食材にふれ体験する。</p> <p>※この科目は、犬の手作りご飯の実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名< なし ></p> <p>科目の必要性・業界での必要性</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1回目：4月20日 犬の手作り食概論1 実習 ペットフードのトッピング 食材に慣れる</p> <p>第2回目：5月25日 犬の手作り食概論2 犬の栄養学1・消化の仕組み 実習</p> <p>第3回目：7月13日 犬の手作り食概論3 犬の栄養学2 3大栄養素 実習</p> <p>第4回目：8月24日 犬の手作り食概論4 犬の栄養学3 ビタミン・ミネラル 実習</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%で修得とする			

ペットショップ°スタッフ科			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数： 週（ 授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
緑書房 エキゾチックアニマル	大森 吾貴彦		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 生態・習性・特徴および飼養管理について学習し、ショップでお客様に対し説明や飼育指導ができるような知識を身に付ける。 授業の特徴 実際に動物に触れてから座学で注意点を学ぶ。 授業の進め方 座学・実習 テキスト、プロジェクター、板書を用いて説明する。 ※この科目は、ペットショップでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		目標取得資格名 修得目標 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：うさぎの特徴について 第2週：うさぎの生態について 第3週：うさぎの飼育方法について 第4週：うさぎの飼育方法について 第5週：モルモットの特徴 第6週：モルモットの生態 第7週：モルモットの飼育方法 第8週：モルモットの飼育方法 第9週：ハムスターの特徴 第10週：ハムスターの生態 第11週：ハムスターの飼育方法 第12週：ハムスターの飼育方法 第13週：定期試験 第14週：解答・解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数：14週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	石井 さより		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> <u>修得目標</u> ペットショップでの仕事で起きるシチュエーションに対応出来る販売力、スタッフとしての知識と応用力を身に着ける <u>授業の特徴</u> 各シチュエーションを想定し、学生同士で考え理想の対応へと結びつけていく <u>授業の進め方</u> 座学の後、実際にシュミレーションを行う ※この科目は、トリミングサロンでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		<u>目標取得資格名</u> <u>修得目標</u> <u>授業の特徴</u> <u>授業の進め方</u>	
授業進行計画		授業進行計画	
第1週：ペットショップスタッフの仕事について、 第2週：各シチュエーションごとの対応について 第3週： 第4週： 第5週： 第6週：課題 第7週： 第8週： 第9週： 第10週： 第11週： 第12週：定期試験 第13週：解答			
成績評価方法		成績評価方法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2年生			
前期/授業予定回数：14週（135分/週）		後期/授業予定回数： 週（ 分/週）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護コアテキスト第2巻 動物のからだの構造と機能 (ファームプレス)	皆上 太一		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<認定動物看護師></p> <p>修得目標</p> <p>動物の生命維持のしくみを形態学・機能学・生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各段階で理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する。</p> <p>授業の特徴</p> <p>動物看護職統一資格試験の過去問を解答解説し、関連する部分を教科書などの教材で掘り下げます。</p> <p>授業の進め方</p> <p>講義毎に小テストを行い、定期試験の代用とします。</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>動物看護職統一資格試験過去問より 動物形態機能学に属する設問を抜粋 これらの解答解説など</p> <p>第1週 2014年度（2月）過去問より抜粋 第2週 2014年度（3月）過去問より抜粋 第3週 2015年度過去問より抜粋 第4週 2016年度過去問より抜粋 第5週 2017年度過去問より抜粋 第6週 2018年度過去問より抜粋 第7週 2019年度過去問より抜粋 第8週 以下予備週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験±平常点（授業態度）			
100点 10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2年生			
前期/授業予定回数：15週（180分/週）		後期/授業予定回数： 週（ 分/週）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護コアテキスト第6巻 動物看護の実践 (ファームプレス)	皆上 太一		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <認定動物看護師> 修得目標 様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害をもつ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を修得する。 授業の特徴 動物看護職統一資格試験の過去問を解答解説し、関連する部分を教科書などの教材で掘り下げます。 授業の進め方 講義毎に小テストを行い、定期試験の代用とします。 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
動物看護職統一資格試験過去問より 動物形態機能学に属する設問を抜粋 これらの解答解説など 第1週 2014年度（2月）過去問より抜粋 第2週 2014年度（3月）過去問より抜粋 第3週 2015年度過去問より抜粋 第4週 2016年度過去問より抜粋 第5週 2017年度過去問より抜粋 第6週 2018年度過去問より抜粋 第7週 2019年度過去問より抜粋 第8週 以下予備週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験±平常点（授業態度） 100点 10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2年生			
前期/授業予定回数：14週（90分/週）		後期/授業予定回数： 週（ 分/週）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護コアテキスト第1巻 人と動物の関係 (ファームプレス)	皆上 太一		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<認定動物看護師></p> <p>修得目標</p> <p>動物や獣医療に関連する様々な法規について学び、社会における動物看護の役割を理解する。</p> <p>授業の特徴</p> <p>動物看護職統一資格試験の過去問を解答解説し、関連する部分を教科書などの教材で掘り下げます。</p> <p>授業の進め方</p> <p>講義毎に小テストを行い、定期試験の代用とします。</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>動物看護職統一資格試験過去問より 動物医療関連法規に属する設問を抜粋 これらの解答と解説など</p> <p>第1週 2011年度過去問より抜粋 第2週 2012年度過去問より抜粋 第3週 2013年度過去問より抜粋 第4週 2014年度（2月）過去問より抜粋 第5週 2014年度（3月）過去問より抜粋 第6週 2015年度過去問より抜粋 第7週 2016年度過去問より抜粋 第8週 2017年度過去問より抜粋 第9週 2018年度過去問より抜粋 第10週 2019年度過去問より抜粋 第11週 以下予備週 第12週 第13週 第14週</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験±平常点（授業態度）			
100点 10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2年生			
前期/授業予定回数：14週（1授業90分）		後期/授業予定回数：15週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護コアテキスト6巻	太田 圭亮		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<認定動物看護師> 修得目標 5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法など臨床栄養学を修得する。 授業の特徴 座学 授業の進め方 座学 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		目標取得資格名 修得目標 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：栄養素について総論 第2週：5大栄養素・炭水化物 第3週：" 第4週：5大栄養素・タンパク質 第5週：5大栄養素・脂質 第6週：5大栄養素・ビタミン 第7週：5大栄養素・ミネラル 第8週：水分について 第9週：エネルギーについて 第10週：BCSとエネルギー要求量 第11週：ペットフードについて 第12週：" 第13週：定期試験 第14週：試験回答・解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験±平常点 100% ±10点			

ペットプロデュース学科/2年生			
前期/授業予定回数：13週（1授業90分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護コアテキスト4巻	今木 康彦		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<認定動物看護師></p> <p>習得目標</p> <p>日本の野生動物の種類と保全、動物園等の展示動物について学ぶ。</p> <p>授業の特徴</p> <p>日本の野生動物の種類と保全、動物園等の展示動物および動物園の役割について学ぶ</p> <p>授業の進め方</p> <p>テキスト、資料等を使い授業を進めていき、さらにビデオをみて学びを深くしていく</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>		<p>目標取得資格名<認定動物看護師></p> <p>習得目標</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 1. 動物の定義 2. 日本の野生動物 第2週 3. 野生動物の現状 第3週 4. 動物園の歴史①動物園の歴史② 第4週 5. 野生動物の収集の規制 第5週 6. 野生動物の保護に関する法律 第6週 7. 野生動物と環境保全 第7週 8. 野生動物の生物多様性 第8週 9. 動物園の存在意義 第9週 10. 動物園動物の福祉 環境エンリッチメント 第10週 11. 触れ合い動物の福祉 第11週 12. 販売動物の福祉 第12週 13. 定期試験 第13週 14. 回答・解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度）		素点 + 平常点（授業態度）	
100% ±10点		100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師コース2年生			
前期/授業予定回数：13週（1授90分）		後期/授業予定回数： 週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物コアテキスト3巻 他 配布資料	皆上 まゆ子		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> ＜認定動物看護師＞ <u>修得目標</u> 代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。 <u>授業の特徴</u> 主に動物病院でよく扱う薬剤について、効果、副作用等を学ぶ。 <u>授業の進め方</u> 難しい内容もたのしく。 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。		<u>目標取得資格名</u> ＜＞ <u>修得目標</u> <u>授業の特徴</u> <u>授業の進め方</u>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：薬理学総論 薬理学とは？ 第2週： 薬物動態（ADME） 吸収・分布・代謝・排泄 第3週： 耐性、薬物間相互作用 第4週： 剤形副作用 コンプライアンス 第5週： 取り扱い、調剤時の注意 第6週：薬理学各論 神経系に作用する薬 第7週： 〃 第8週： 消化器系に作用する薬 第9週： 〃 第10週： 呼吸器に作用する薬 第11週： 〃 第12週： 循環器に作用する 第13週： 泌尿器に作用する薬			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点＋平常点（授業態度） 100% ±10点		素点＋平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2年生			
前期/授業予定回数：13週（1授業90分）		後期/授業予定回数：週（授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護コアテキスト 第1巻、第5巻 ファームプレス 他 配布資料有り	皆上 まゆ子		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名 <認定動物看護師></p> <p>修得目標 生命倫理を基本に人と動物が共生するために必要な倫理学の理念を理解する。 動物愛護や動物福祉（アニマルウェルフェア）、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ。</p> <p>授業の特徴 診療現場での実例、対応を考えながら学ぶ。</p> <p>授業の進め方 難しい内容も、楽しく。</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：動物看護概論 第2週：動物看護師に求められる視点と能力 第3週：診療における動物看護師の役割 第4週：職域、職務範囲 第5週：動物看護師として必要な知識 第6週：動物看護師の役割と様々な仕事 第7週：動物看護記録（POMRの構成・SOAP形式） 第8週：知っておきたい英語（動物医療専門用語） 第9週：問題思考過程の5段階 第10週：看護過程の5段階 第11週：まとめ 総復習 第12週：試験実施 第13週：解答&解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験	平常点（授業態度）		
100%	±10点		

ペットプロデュース学科/動物看護師科2年生

前期/授業予定回数： 13週（1授業90分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護コアテキスト 第3巻	伊藤 航		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> <認定動物看護師> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、 人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。			
<u>授業の特徴</u> 座学			
<u>授業の進め方</u> 座学			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 伴侶動物が関係する人獣共通感染症 （狂犬病、ブルセラ症、ペスト、 炭疽、ラッサ熱、日本脳炎、 デング熱など） 第2週 // 第3週 // 第4週 // 第5週 // 第6週 // 第7週 // 第8週 // 第9週 // 第10週 // 第11週総まとめ 第12週定期試験 第13週試験解答復習			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験＋平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2年生			
前期/授業予定回数：14回（1授業90分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護コアテキスト第6巻	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<認定動物看護師> 修得目標動物臨床検査学実習Ⅰでの実践能力に応用力を用いて正確性、迅速性を身につける。</p> <p>授業の特徴 動物や標本を材料とし、動物病院と同様の診療機器を用いて検査手技に習熟していく。</p> <p>授業の進め方 座学・実習</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>			
授業進行計画		授業進行計画	
第1週：赤血球、白血球、血小板、塗抹、採血管 第2週：復習 第3週：血球計算機（使用方法と転記、基準値） 第4週：ヘマトクリット（検査方法と基準値） 第5週：復習 第6週：復習 第7週：生化学検査 第8週：復習 第9週：復習 第10週：輸血 第11週：クロスマッチ 第12週：復習 第13週：定期テスト 第14週：解答・解説			
成績評価方法		成績評価方法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ± 10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数：13週（1授業90分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<認定動物看護師></p> <p>修得目標 動物看護実習Ⅰでの実践能力に応用力を用いて正確性、迅速性を身に付ける。</p> <p>授業の特徴 座学・実習</p> <p>授業の進め方 座学・実習</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>			
授業進行計画		授業進行計画	
<p>第1週：前期復習（調剤と注射器）</p> <p>第2週：留置（名称、使用方法）</p> <p>第3週：復習</p> <p>第4週：留置（準備、駆血と止血）</p> <p>第5週：復習</p> <p>第6週：輸液（体液と電解質、輸液剤）</p> <p>第7週：復習</p> <p>第8週：輸液（計算、点滴準備）</p> <p>第9週：復習</p> <p>第10週：復習</p> <p>第11週：総復習</p> <p>第12週：定期試験（筆記試験＋実技試験）</p> <p>第13週：解答・解説</p> <p>※上記日程・内容については、 生体確保等の理由により変更することがある</p>			
成績評価方法		成績評価方法	
<p>定期試験 ＋ 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2年生			
前期/授業予定回数：14回（1授業360分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	岩元 奈穂		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名 <経専学園認定院内グルーマライセンス></p> <p>習得目標 道具や犬の扱いを再確認し、状況に合わせた扱い方をマスターする。</p> <p>授業の特徴 トリミング作業の基本とトリマーとしての心構え、技術を学ぶ。</p> <p>授業の進め方 トリミング作業の基本と流れ、トリマーとしての心構え、技術を段階的に学ぶ。</p> <p>※この科目はトリミングでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週～第14週</p> <p>☆ 各犬種規定の時間内に仕上げる。 小型・中型・大型犬</p> <p>☆ グルーマーライセンス合格者から順にトリミング犬種のトリミング ・シーザー ・マルチーズ ・ペキニーズ ・コッカー など 全身バリカン仕上げ、スキバサミを使用する</p> <p>☆ バリカン、ハサミの確認がとれた者から動物看護科のみ受験可能な校内ライセンス試験の実施</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
『トリミング実習評価表』に基づく + 平常点（授業態度） 100%		+ 平常点（授業態度） ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2年生			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：13週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト6巻 （動物看護の実践） 配布プリント	岩崎 忍
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> <u>授業の特徴</u> <u>授業の進め方</u>		<u>目標取得資格名</u> <動物看護師統一試験> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 看護の基本を理解しながら、傷病動物を前にして 行うべきこと、予測されることを学ぶ <u>授業の特徴</u> さまざまな疾患のポイントの復習を先に行う <u>授業の進め方</u> グループワークなども取り入れて進める ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が 実践的教育を行っています。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週： 呼吸器系疾患の看護 第2週： 泌尿器系疾患の看護1 第3週： 泌尿器系疾患の看護2 第4週： 生殖器系疾患の看護 第5週： 腫瘍動物の看護 第6週： 皮膚疾患の看護 第7週： 痒みを持つ動物の看護 第8週： 運動器・周術期の動物の看護 第9週： 幼齢・高齢動物の看護 第10週： " 第11週： " 第12週： 定期テスト 第13週： 解答	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2 年生			
前期/授業予定回数：週（1 授業分）		後期/授業予定回数：13 週（1 授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			伊東 登
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<> 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方		目標取得資格名<動物看護師統一試験> 科目の必要性・業界での必要性 繁殖に関わる生体機能を学び、妊娠・分娩と新生子管理、 遺伝学の基礎知識を修得する。 授業の特徴 雌雄の生殖器の構造が常に出てくるので、形態機能学 をしっかり理解しておく 授業の進め方 時にプリント配布・スライドを使用	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週： 雌の生殖器の復習 第2週： 犬と猫の性周期 第3週： 交配と妊娠 第4週： 正常出産 第5週： 助産と難産 第6週： 帝王切開 第7週： 新生児の管理 第8週： 生殖器の疾患1 第9週： 生殖器の疾患2 第10週： 生殖器の疾患3 第11週： 遺伝性疾患1 第12週： 定期テスト 第13週： 解答	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2年生			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数： 17週（1授業360分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			岩元 奈穂 青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<トリマーライセンス></p> <p>科目の必要性・業界での必要性</p> <p>道具や犬の扱い方を再確認し、状況に合わせた扱い方をマスターする。</p> <p>授業の特徴</p> <p>トリミング作業の基本とトリマーとしての心構え、技術を学ぶ。</p> <p>授業の進め方</p> <p>トリミング作業の基本と流れ、トリマーとしての心構え、技術を段階的に学ぶ。また、週1回の授業なのでより有意義なものにする。</p> <p>※この科目はトリミングサロンでの実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		<p>第1週～第17週</p> <p>☆ 各犬種規定の時間内に仕上げる。 小型・中型・大型犬</p> <p>☆ 校内ライセンス合格者から順にトリミング犬種のトリミング ・シーザー ・マルチーズ ・ペキニーズ ・コッカー など 全身バリカン仕上げ、スキバサミを使用する</p> <p>☆ バリカン、ハサミの確認がとれた者から動物看護師のみ受験可能な校内ライセンス試験の実施</p>	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		『トリミング実習評価表』に基づく + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2年生			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：13週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト 第6巻	太田
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 基礎栄養素及び主に犬猫に必要な栄養素、ペットフードの基本的知識と特別療法食の特性など個体に合った適切な食事管理についての知識を身につける。</p> <p>授業の特徴 座学</p> <p>授業の進め方 座学</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：ミネラル 第2週：エネルギーとは 第3週：必要エネルギー 第4週：ペットフード 第5週： 〃 第6週：疾患別栄養管理 第7週： 〃 第8週： 〃 第9週： 〃 第10週： 〃 第11週：経口以外の栄養摂取 第12週：定期試験 第13週：試験解答週	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2年生			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：16週（1授業180分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト第6	青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験></p> <p>修得目標</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>		<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験></p> <p>修得目標動物臨床検査学実習 I での実践能力に応用力を用いて正確性、迅速性を身につける。</p> <p>授業の特徴</p> <p>動物や標本を材料とし、動物病院と同様の診療機器を用いて検査手技に習熟していく。DVDなど映像機器も利用する。</p> <p>授業の進め方</p> <p>授業で理論的説明と実技を行い、終了後レポート提出。単元毎に小テスト、学期末に定期テストを行う。 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：膣スメア検査 第2週：血液ガス測定 第3週：血液凝固系検査 第4週： 〃 第5週： 〃 第6週：クロスマッチ検査 第7週： 〃 第8週：感染症検査 第9週：1年生からの復習 第10週： 〃 第11週： 〃 第12週： 〃 第13週：認定試験前復習 第14週： 〃 第15週：定期試験 第16週：解答と解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		素点 + 平常点 (授業態度) 100% ± 10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2年生			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：13週（90分/週）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト第1巻 人と動物の関係 (ファームプレス)	皆上 太一
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名＜動物看護師統一認定資格＞</p> <p>修得目標 動物や獣医療に関連する様々な法規について学び、専門職として社会における動物看護師の役割を理解する。</p> <p>授業の特徴 動物看護職統一資格試験の過去問を解答解説し、関連する部分を教科書などの教材で掘り下げます。</p> <p>授業の進め方 講義毎に小テストを行い、定期試験の代用とします。 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		<p>動物看護職統一資格試験過去問より 動物医療関連法規に属する設問を抜粋 これらの解答と解説など</p> <p>第1週 2011年度過去問より抜粋 第2週 2012年度過去問より抜粋 第3週 2013年度過去問より抜粋 第4週 2014年度（2月）過去問より抜粋 第5週 2014年度（3月）過去問より抜粋 第6週 2015年度過去問より抜粋 第7週 2016年度過去問より抜粋 第8週 2017年度過去問より抜粋 第9週 2018年度過去問より抜粋 第10週 以下予備週 第11週 第12週 第13週</p>	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		<p>定期試験±平常点（授業態度） 100点 10点</p>	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2年生			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数： 16週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト 第3巻 ファームプレス 他 配布資料あり	皆上まゆ子
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験></p> <p>科目の必要性・業界での必要性 様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。</p> <p>授業の特徴 病院で交わされる病態や症状をあらわす用語がわかるように。</p> <p>授業の進め方 難しい内容も楽しく ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		<p>第1週 病理学とは？</p> <p>第2週 ◇病気の原因 外因、内因</p> <p>第3週 ◇細胞の変化・基本病変 退行性病変</p> <p>第4週 進行性病変</p> <p>第5週 ◇循環器障害</p> <p>第6週 局所性：充血・うっ血・乏血</p> <p>第7週 : 出血・血栓症・塞栓症・梗塞</p> <p>第8週 全身性：浮腫・脱水・ショック・高血圧</p> <p>第9週 ◇炎症と免疫 免疫とは？</p> <p>第10週 炎症の4徴候</p> <p>第11週 アレルギーとは？ I～IV型</p> <p>第12週 ◇免疫不全 自己免疫疾患</p> <p>第13週 //</p> <p>第14週 ◇がん がんとは？腫瘍 良性、悪性</p> <p>第15週 //</p> <p>第16週 ◇先天的な体の病気～奇形～</p>	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		<p>素点+平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2 年生			
前期/授業予定回数： 週（1 授業 分）		後期/授業予定回数： 16 週（1 授業 90 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト 第6巻	青木 由徳
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<> 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方		目標取得資格名<動物看護師統一試験> 科目の必要性・業界での必要性 臨床外科における手術の基礎知識を習得し動物看護師としての外科助手の役割を担えるようになる 授業の特徴 より実践的な外科実習と助手としての知識を高める 授業の進め方 模擬手術を行ない助手としての実践感覚を身につける ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：覚醒時の対応と覚醒後の疼痛・入院管理① 第2週：覚醒時の対応と覚醒後の疼痛・入院管理② 第3週：歯科疾患の処置（スケーリングと予防歯科） 第4週：去勢手術の準備と模擬手術① 第5週：去勢手術の準備と模擬手術② 第6週：避妊手術の準備と模擬手術① 第7週：避妊手術の準備と模擬手術② 第8週：整形外科の器具/手術法とキャスティング① 第9週：整形外科の器具/手術法とキャスティング② 第10週：腫瘍外科概論と疾患別手術法① 第11週：腫瘍外科概論と疾患別手術法② 第12週：軟部外科① 第13週：緊急外来対応 第14週：外科の総括 第15週：定期試験 第16週：定期試験回答解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数： 13週（1授業45業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名 <動物看護師統一認定試験> 修得目標 エキゾチックアニマルの飼育、保定について理解できる</p> <p>授業の特徴 座学・実習</p> <p>授業の進め方 座学・実習 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：フェレットの飼育・保定について 第2週： 〃 第3週：セキセイインコの飼育・保定について 第4週： 〃 第5週： 〃 第6週： 〃 第7週：咬む犬の保定について 第8週： 〃 第9週： 〃 第10週：猫の保定について 第11週： 〃 第12週：定期試験 第13週：解答と解説	
		※上記日程・内容については、 生体確保等の理由により変更することがある	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2年生			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：16週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト4 動物の行動と健康管理	今木 康彦
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<認定動物看護師> 科目の必要性・業界での必要性 動物看護師統一認定試験出題範囲 授業の特徴 認定試験対策を踏まえながら、伴侶動物、エキゾチックアニマル、産業動物、実験動物、展示動物、野生動物の飼養管理について学んでいく 授業の進め方 レジメ、資料等を使い授業を進めていき、さらにビデオをみて学びを深くしていく ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週～第4週：伴侶動物①犬の飼養管理 第5週～第7週：伴侶動物②猫の飼養管理 第8週：エキゾチックアニマル① ウサギの飼養管理 ハムスターの飼養管理 第9週：エキゾチックアニマル② モルモットの飼養管理 フェレットの飼養管理 第10週：エキゾチックアニマル③ 小鳥の飼養管理 第11週：産業動物① ウシの飼養管理 ヤギ・ヒツジの飼養管理 第12週：産業動物② ウマの飼養管理 ブタの飼養管理 第13週：産業動物③ ニワトリの飼養管理 農場HACCPについて 第14週：実験動物 第15週：野生動物 第16週：展示動物	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護科2年生			
前期/授業予定回数： 週（1授 分）		後期/授業予定回数： 16週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト 第3巻 ファームプレス 他 配布資料	皆上 まゆ子
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名 <動物看護師統一試験></p> <p>科目の必要性・業界での必要性 代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病や診断にどのように用いられるかを理解する。</p> <p>授業の特徴 主に動物病院でよく扱う薬剤について、効果、副作用等を学ぶ。</p> <p>授業の進め方 難しい内容もたのしく。 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		第1週：薬理学総論 薬理学とは？ 第2週：薬物動態（ADME）、剤形 第3週：取り扱い、調剤時の注意 第4週：副作用 コンプライアンス 第5週：薬理学各論 神経系に作用する薬 第6週：消化器系に作用する薬 第7週：呼吸器に作用する薬 第8週：循環器に作用する薬 第9週：泌尿器に作用する薬 第10週：炎症とアレルギーの薬 第11週：ホルモン剤 第12週：抗生物質 第13週：駆虫薬 第14週：消毒薬 第15週：試験実施 第16週：試験 解答・解説	
成績評価方法		成績評価方法	
		素点+平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科2年生			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：16週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、動物の内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。</p> <p><u>授業の特徴</u> 座学・実習</p> <p><u>授業の進め方</u> 座学・実習</p> <p>※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が実践的教育を行っています。</p>	
		授 業 進 行 計 画	
		第1週：シミュレーション1 第2週： 〃 第3週：シミュレーション2 第4週： 〃 第5週：シミュレーション3 第6週： 〃 第7週：シミュレーション4 第8週： 〃 第9週：冷罨法 第10週： 〃 第11週：大型犬の介護 第12週： 〃 第13週：咬む犬への対応 第14週：亡くなった動物の処置 第15週：定期試験 第16週：解答と解説	
		※上記日程・内容については、生徒の習熟度および 生体確保等の理由により変更することがある	
成績評価方法		成績評価方法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2 年生			
前期/授業予定回数：週（1 授業分）		後期/授業予定回数：16 週（1 授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト 3巻	青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、 人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解 する。</p> <p>授業の特徴 座学</p> <p>授業の進め方 座学 ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が 実践的教育を行っています。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：動物公衆衛生学の定義 第2週：犬、猫類の主なズーノーシス 第3週： 第4週： 第5週： 第6週：猿類の主なズーノーシス 第7週： 第8週： 第9週：げっ歯目類の主なズーノーシス 第10週： 第11週： 第12週：滅菌と消毒 第13週： 第14週：ズーノーシスの予防法 第15週：定期試験 第16週：解答と解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2 年生			
前期/授業予定回数： 週（1 授業分）		後期/授業予定回数：16 週（1 授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		プリント	青木 由徳
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<> 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方		目標取得資格名<動物看護師統一試験> 科目の必要性・業界での必要性 主な内疾患の症状や治療法を理解し身体的・精神的 状況の観点から回復に至るまでの必要な事項を理解する 授業の特徴 臨床現場における入院症例をもとに解説 授業の進め方 学生に自主的に考えさせ入院管理の重要性を理解 ていく ※この科目は、動物病院での実務経験のある教員が 実践的教育を行っています。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：一般的な内科疾患と外科疾患の看護法概論 第2週：症例の多い内科疾患の特徴と経過・看護法 第3週：上部及び下部気道の疾患に対する看護法 第4週：心臓及び血液疾患に対する適切な看護法 第5週：上下部消化器系疾患に対する適切な看護法 第6週：泌尿器系・FLUTDに対する適切な看護法 第7週：感染力の強いウイルス性疾患の基本対応 第8週：感染力の強いウイルス性疾患の管理法 第9週：骨・関節疾患に対する入院看護法 第10週：てんかんなどの神経疾患に対する管理法 第11週：脳・脊髄疾患に対する看護法 第12週：内分泌疾患に対する適切な看護法 第13週：生殖器疾患に対する適切な看護法 第14週：誤飲・中毒疾患による入院管理 第15週：定期試験 第16週：定期試験回答解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	